



発行

名工大生命・物質工学科  
生体材料プログラム内  
双友会TEL (052) 735-5264  
(052) 735-5273ホームページ  
<http://soyukai.web.nitech.ac.jp>

編集

双友会だより編集部

発行所

名古屋市昭和区御器所町  
名古屋工業大学  
生命・物質工学科内

## ご挨拶

平成 22 年 9 月 吉日

双友会会長 市橋洋志 (W40)

政治、経済面において、何かとややこしい時代を迎えておりますが、皆様方には、双友会員として、各方面にて立派にご活躍してみえることと思っております。

まず、双友会としては、全学的同窓会組織である名古屋工業会名古屋支部の運営当番として、ここ 2 年間、立派に任務を果たせましたこと、学内外の幹事の皆様に厚く御礼申し上げます。

双友会そのものは、その時代時代の社会の変化により、同じ会員でも、在学の時期により、学んだ専攻及び卒業後の進路が大きく変化しておりますが、卒年に関係なく会員相互の連帯感を維持して下さるようお願いいたします。又対外的には、大学、名古屋工業会及び他の単科会の連携を強めてゆく所存です。

会としましては、先ず大学との絆を強めるべく、改めて会則を変更して、会の目的を、従来の会員相互の親睦の他に、在学学生の支援を加えました。又今年の総会に際して、会員の 今井啓祐様 (W40) に在校生を対象とした、講演をしていただきました。これらは、今後も継続してゆきたいと思っております。

ここで会員の皆様にお願ひがあります。一つは会員相互の親睦の為に、会合にできるだけ参加して下さい。メール等通信手段が発達した時代ですが、互いに顔を会わせる方が親睦に、役立つと思ひます。本誌に案内があります、10/22 開催の総会も、皆様の参加しやすいように、会費を 5,000 円に改めました (昨年迄は 10,000 円)。又東京、東海、関西各支部では総会を実施しております。ぜひともご参加ください。もう一つはやはり本誌にて掲載しておりますが、会費の納入をお願いいたします。これにより在校生を少しでも助成して、将来、立派な後輩になって、我々先輩を、押し上げてくれることと確信しております。

今後共、会員の皆様方には会のますますの発展への、ご協力をお願いして、挨拶とさせていただきます。

## 平成 21 年度 双友会総会、懇親会・新入会員歓迎会 開催報告

平成 21 年度双友会総会、懇親会・新入会員歓迎会は平成 21 年 11 月 27 日 (金) に名古屋工業大学会館において開催されました。

懇親会・新入会員歓迎会に先立ち、平成 21 年度総会 (出席者 13 名) が行われ、幹事会より提出された 20 年度の事業報告・会計報告、21 年度の行事予定・会計予算案について審議の上、満場一致で承認され、全ての議事を滞りなく終了し閉会となりました。

本年度は午後 4 時より 1 号館 K1 教室において今井啓祐氏に在校生を対象としたご講演をしていただきました。午後 6 時より会場を大学会館 1 階 (生協大食堂) に移して、森川民雄幹事長 (W45) の司会進行のもと、懇親会ならびに新入会員歓迎会を開催しました。今回も OB 9 名をはじめ、多くの方々にご参加いただき、総勢 82 名で開催することができました。市橋洋志会長 (W40) のご挨拶に続き、来賓として生命・物質工学科生体材料プロ



市橋洋志 (W40)

プログラム長の樋口真弘教授のご挨拶と今井啓祐氏（W40）のご講演へのお礼を述べられました。それに続き、参加企業のご紹介と関西支部長でご講演もいただきました今井啓祐氏（W40）のご紹介があり、ご挨拶をいただきました。その後、竹村皎氏（W29）のご発声の乾杯により歓談に入りました。会場では、新入会員の4年生が諸先輩と意見を交わし、楽しく過ごしました。その間、参加企業の松本氏（TIS）から、システムインテグレータとしての紹介とともに学生への激励をいただきました。学生側からは中西研 佐藤君、高須研 吉野君、永田研 金松君、門脇君、吉水研 深澤君らがお礼と将来の豊富について語りました。会の中締として西尾弘之氏（W37）の激励の言葉があり、西尾氏の音頭のもとで万歳三唱を行い、万雷の拍手のもと、再会を誓い幕を閉じました。



### 今井様の講演を聞いて

研究室の先輩にあたる今井様の講演を聞かせて頂きました。今井様は、昭和40年に本学を卒業して以来、イギリスでの留学を経て、ドイツカールマイヤー社への入社、日本帰国後の日本マイヤー社での社長就任など、波乱万丈な人生を送られており、ご自身の私生活でのエピソードや、人生の大きな選択の場面でのどのような判断をしてきたかということをお話しながら、人生の歩みをお話して頂き、楽しんで聞くことが出来ました。またご自身の選んだ道をひたすらに進んできた今井様のお話を聞き、就職活動を控えた私にとって、将来を考える良いきっかけとなったように思います。その中でも、「自分の進む道は自分自身で決めるしか方法はなく、これと決めた道を最善と信じて進むしかない。」といったお言葉が印象的でした。

また、ご自身が信じた道に対して、イギリスへの留学や独学での技術習得など、自ら積極的に行動を起こし、夢の実現に向かってできる限りの努力をするという今井様の姿勢についても、ぜひ見習っていきたくと考えております。私も将来についてしっかりと悩み、今井様のように後悔のない選択をして、後輩に誇れる人生を歩んでいきたいと思っております。

中西研究室 博士前期課程1年

### 平成 22 年度双友会関西支部総会

定例の標記支部総会が双友会市橋会長と名工大会大阪支部木越支部長のご参加を得て下記の通り開催されました。

日時；平成 22 年 4 月 17 日（土） 12：00～14：30

場所；大阪市北区のダイナミックキッチン「燦」

冒頭、W28 富永健郎様、W38 栗原正次様、坂倉静様のご逝去に対し黙祷をささげ、会計報告、実績及び今年度活動計画等滞りなく議事を進め、懇親会に入りました。今回は参加者 20 名と例年ご参加いただいている方々のご都合が悪く少なめでしたが、話が弾み久し振りの再会を楽しみました。尚、会計担当が W38 牧様から W40 浜野様へ変更になりました。添付の写真は総会后有志が集まって撮ったスナップです。



## 双友会東京支部報告

双友会東京支部は、去る5月19日(水)にKKRホテル東京 桜の間にて恒例の懇親会を開催しました。今年も双友会本部より市橋 洋志会長が遠路にもかかわらずご出席くださり、そのうえW40の級友を多数お誘いいただいたお陰で総勢14名の会員が集い盛会となりました。定刻、山田 實支部長より開会のご挨拶をいただき、乾杯の発声とともに開宴となりました。はじめに幹事より会員の動静など報告があり、続いて市橋氏から名古屋工業会の一般社団法人への移行問題や双友会東海支部、関西支部の活動状況につきお話をいただきました。歓談は佳境に入り今回、初参加の鷺見氏の自己紹介があり、長年にわたり各種プラスチック成形品の研究開発に携わってこられ、現在も一線でご活躍中とのことでした。また経済同友会など社外活動や企業の社会貢献に尽力されている長島氏からは、帝人グループが日本館に出展中でもある上海万国博覧会の視察報告など承りました。次回は11月11日(木)に開催予定の名古屋工業会 東京支部総会で再会することを約し、予定の時間も経過したので散会としました。記 佐藤

当日の出席者は下記のとおりです。括弧内：(昭和卒業年)  
 山田 實(23) 早川 吉郎(23)  
 飯田 秀郎(33) 佐藤 誠(33)  
 倉島 俊二(38) 高瀬 達也(38)  
 中村 勤(38) 市橋 洋志(40)  
 齊藤 隆光(40) 鷺見 武彦(40)  
 田村 広志(40) 長島 徹(40)  
 谷口 庄平(42) 印藤 嶺(43)



～ 会員寄稿 ～

記：吉木 満(56)

### 双友会東海地区懇親会を開催(2010年4月16日)(詳細はホームページに掲載予定)

東海地区の懇親会を2010年4月16日(金)に名古屋工業大学2号館11Fのラウンジにて、開催しました。

出席者 17名(2010年4月16日) 米沢 敦(20)、竹村 皎(29)、丸地 孝男(34)、梶田 隆男(36)、西尾 弘之(37)、西川 尚武(37)、長谷川 隆男(38)、伊藤 雅隆(40)、安江 正身(40)、沼田 長之(40)、市橋 洋志(40)、近藤 高可(40)、神田 邦夫(43)、泉地 正章(44)、森川 民雄(45)、小坂 寧(45)、吉木 満(56)

括弧内：(昭和卒業年)

## 田中賢治先生宅 弔問記

W 三七会 臨時会報 平成 22 年 3 月 7 日発行

W 三七会関連で、野崎君、西尾君と三人でいろいろやり取りしていた三月三日、野崎君「今朝の中日新聞紙上で叙位叙勲の欄に田中賢治名誉教授二月五日死去と載っているよ」とメールあり、早速西尾君「本当だ」とメール回答、西川、田中先生宅へ電話。電話には奥様が出られ、お元気そうなお声で、「昨年一二月一六日夕食時、左に崩れるようにして倒れ、急いで救急車で日赤病院に入院、脳梗塞と診断され、もう丸太棒のようになってしまい、二人の看護士さんによって、やっと横に出来る状態、若い日赤医師は、このまま延命処置をしなかったら、本人の餓死を待つのみですと、高飛車な対応に、隣家に住む娘と二人で途方に暮れましたのよ」と。「今の病院は二ヶ月しか置いてくれず、次の病院を探すには、次の次の病院を確保してからでないと承諾してくれないのよ」と奥様の電話は次々と話題は広がっていく。しかし、最後に、「主人は九五歳で大往生でした。もう年寄りの私一人ですし、こうして元気そのものですので、ご来宅など気を遣わないで下さい」と最後に何度も何度も念を押された。しかしその後の三人のメール交信で、西尾君「こうして田中先生のご逝去の報に接したのだから、野崎君と西川君二人で弔問に行ってくれ」ということになり、三月五日午前十時、野崎君の車で、昭和美術館裏の閑静なる屋敷街にある田中賢治先生宅を訪問した。まだ四九日前で、先生の書斎には、祭壇が設けられ、写真と位牌が祀られてあった。



「織實院釈賢学 平成二二年二月五日」戒名の横には、先生の大きな写真が飾られてあった。奥様は、現在八五歳 足ひざを痛められ、歩くのは少々大変のようだが、顔色もお元気そうで、笑顔が絶えない。生活にはユーモアが大事よというのが、奥様の信条。耳も声もしっかりしておられる。隣家に住んでおられる次女も、会話に同席され、四人での会話は一時間近くに及ぶ。田中先生は岐阜、奥様は九州出身。名工専機械科を卒業された田中先生。結核に冒され、奥さんは懇意の医者から患者に良さそうな結核青年がいるがお見合いをしないかとのご縁で、話はトントン拍子に進み、結婚。しかし結婚一五日目に招集。既に日本には船も飛行機もなく、最後まで内地勤務。

大酒飲みの田中先生、給与を二回も失くした不始末もあったが、晩年は胃を手術されて、以後お酒もぶつとりと止められたとのこと。東京工大内地留学、工学博士取得当時は一生懸命に勉強されたこともあったが、定年後はいつも書斎に座って、庭の草花を愛でつつ、陽当たりに1日を過ごす余生でした。

奥さんは、実にお話が大好きな方で、話題も豊富 記憶力も抜群で話も面白い。六〇歳から英国に短期留学、以後英国大好き人間になり、英国各地の名前もポンポンと飛び出してくる。今日は あの香港、羽田と連続航空機事故当日ですよ。W先輩、三菱レーヨン三枝氏はあの事故で亡くなったのよ。三枝氏も一度来宅されたことがありますが、何故かあの時、三枝さんの後姿に今生の別を予感したのは虫の報せというものでしょうか。兎に角、あの頃の名工大W科には優秀な学生が全国から大勢集まって来ていたし、その後も各界で大活躍された方々が多くみえますね、あの頃は繊維業界も右肩上がり、行け行けドンドン・名工大W科の全盛時代ではなかったのでしょうか。ある日 朝日新聞日曜版で、名工大教え子 (6頁に続く)

長嶋氏が帝人社長で大活躍の特集を読んで田中先生大変喜ばれ、早速お祝いのハガキを書かれたが、郵便番号最後の四桁がどうしても判らず、そのままハガキは投函されることもなく引き出しに眠ったままになっていたのを、今回頂いてきましたので、堀君を通じて長嶋氏に届けて欲しい。

田中先生、皇居参賀の際、上京切符をどうしたことか生協で一番安い切符を手配され、叙勲するのに、新幹線は立ち席でしたのよと奥さま懐かしそうに笑ってみえた。大学病院に行くと、教授なんてすごく威張っているけれど、私には、教授なんて、その辺にゴロゴロしている一人にしか見えなかったわよ。教授なんて、何も偉くないわよね。でも、主人に言ってやったの、私のような悪妻だから貴方は長生き出来たのよ、感謝しなさいってね。W三七会から香典一万円と、果物をお供えした。奥さま、W三七会の皆さんによろしくお伝え下さいと何度も何度も玄関先で挨拶された。春の陽のひかりが庭先一杯に広がり 穏やかな奥様の笑顔が忘れられない田中家弔問であった。

(西川記)

### 平成21年度研究助成報告

双友会では、大学院や学部在学中に学会（各種学術団体などが開催する研究成果発表会）にて研究発表を行った学生に対し、「研究助成金」（1回1万円、年1回まで。但し東海3県を除く。）を贈呈しています。平成21年度は35件の学会発表に対し、研究助成金を贈呈しました。会員の皆様に謹んでお礼申し上げます。

#### <学生お礼>

研究を進めていく上で、一人でも多くの人の意見、または研究成果を聞くことはとても重要なことです。そこで、もっとも効率的にそれを達成することができるのが学会への参加になります。実際私も何度か学会に参加することによって、多くの研究成果を聞き、著名な先生方の講演を聞くことができ、とても貴重な経験を得ることができました。また、学会は情報を“受信”するだけでなく、研究発表を通して自分の研究を世界に“発信”する重要な役割も持っています。しかし、多くの学会は地元以外で行われるため参加費や交通費などの問題から参加が限られてしまうことがあります。そんな中、双友会の先輩方からのご支援のおかげで、一つでも多くの学会に参加することができ、研究の可能性も大きく広がりました。これからも先輩方や、協力してくれる周りの方への感謝の気持ちを忘れず、より研究に精を出していきたいと思います。

物質工学専攻修士課程2年次 山門陵平（高木研究室）

### 平成21年度卒業生進路

平成21年度（平成22年3月修了・卒業）の卒業生の就職先を紹介します。

大学院：オーツカ、ナトコ、竹本油脂、Avan Strate、富士ゼロックス東京、フタムラ化学、榎屋、住友電装、トステム、住友化学、榎屋、住友ベークライト、豊和化成、大日本印刷、ポリプラスチック、ゼリア製薬、KYB、小島プレス、トヨタ自動車、ニチバン、アイシン精機、東芝、ダイキン、東亜合成、トヨタ紡織、トステム、YKK、住友化学

学部：ウェルフェア、太陽薬品、東和耐火工業、大成歯科工業、NTT Data、TIS、森永乳業、ダリア工業、名古屋スバル、TTDC

## 終身会員制度のご案内

終身会員として 30,000 円を納入されますと以後の会費は免除される制度です。平成 13 年度から平成 22 年 8 月までに終身会員（149 名）になられた方は次の通りです。（敬称略）（記載漏れなどございましたら事務局までご連絡ください。）

**学年別終身会員数（括弧内は人数）** W12(1), W13(2), W25(1), W29(5), W31(4), W32(4), W33(6), W34(9), W35(5), W37(6), W38(5), W39(6), W40(10), W41(2), W42(3), W43(1), W44(1), W45(6), W46(4), W47(2), W48(3), W51(4), W52(2), W54(2), W55(5), W56(4), W57(1), W58(3), W59(1), W60(1), W62(2), W63(1), Wh1(2), Wh2(3), Wh3(3), Wh4(2), Wh5(4), Wh6(2), Wh7(2), Wh8(1), Wh11(1), Wh10(5), Wh12(2), Wh13(5), Wh16(1), Wh18(1)

田中铁三郎、加藤武、山口武雄、富田義晴、太田鑑吾、柏木鉄雄、鈴木重夫、竹村皎、長谷川準三、木村常男、須加井喬、松岡八郎、鷺田一雄、井田武彦、今井博、玉田欽也、瀧澤直人、伊藤晃、片岡忠明、川口文夫、日比宣夫、福田竺、宮本浩二、奥村巳善、兼松勇夫、下山幸重、杉浦潔彦、長崎義一、丸地孝男、宮崎幹士、箕浦静、森川勲、氏原義文、酒井麓郎、山口儀康、横地邦廣、蜂須賀辰雄、青山實、赤塚正明、伊藤周雄、西尾弘之、西川尚武、堀紀久雄、井塚淑夫、高橋信行、丹羽信男、長谷川隆男、牧紀久夫、伊藤弘、神谷昇、城山義見、高橋英生、高橋正清、浜島徳充、市橋洋志、今井啓裕、北村公英、後藤共子、近藤高可、谷憲治、田村広志、恒川昭夫、長島徹、西川宣昭、永坂友康、西澤郁朗、酒井敏彦、椿泰広、長江正純、印藤矯、牧野昭二、伊藤哲夫、小坂寧、加藤喬士、谷岡明彦、水野和博、森川民雄、齊藤秀夫、所義勝、山中一、山本恒男、森田健次、今井貞幸、浅井幹夫、佐藤紀夫、白木雅雄、亀岡直樹、三宅宣幸、采誠次、矢部敏之、磯本恒之、加納章、朝倉睦美、嵯峨久直、小谷一郎、三上鉄也、水野喜仁、伊藤聰、玉置達夫、榊原啓介、松村秀司、山田基美子、吉木満、荒川みはる、伊藤健一郎、杉村貴代、鈴木司朗、木村敦志、松野一郎、小野晃、山本武志、山本哲也、永田寛知、高木登、青木知明、片岡真理、小塚佳明、植手貴夫、濱口尚久、松田淳二、安田正弘、鹿糠悟、佐藤嘉洋、高木幸治、冬頭美乃、鈴木晃、林修二郎、山本勝宏、木野喜隆、長坂直紀、土井智清、佐藤佳治、岡恭子、原滋郎、井上慎一郎、黒川裕司、大室幸絵、藤川誠二、中村賢一、辻隆幸、小森久敏、杉野裕介、竹内孝行、中井祐介、堀部峰雄、森下豪人、久保田篤優、角谷信裕

## 事務局 だより

- ◎ 住所等の誤り、変更等がございましたら事務局（8 頁に記載）までご連絡ください。
- ◎ 会員のご名誉・各受賞に関し、ご存知でしたら事務局までご一報ください。
- ◎ 双友会だよりの寄稿文を募集しておりますので、事務局までご送付下さい。
- ◎ 名古屋工業会では会員の増強を行っております。工業会に未加入の方はこの機会に是非ご加入いただきますようお願い申し上げます。

## 会費納入のお願い！

双友会の運営は会員諸兄姉の年会費（2,000 円）にかかっています。

昨今は赤字傾向であり、このうちの大半は年会費の減収分であります。このままでは数年後には**財源が枯渇してしまいかねない深刻な状況**です。本双友会の円滑な運営の為にどうか会費を納めてくださるよう、会員諸兄姉のご理解とご協力をお願いします。なお、寄付の申し込みを受け付けています（一口 5,000 円から）。会誌またはホームページでご芳名を掲載させていただきます。

個人年会費などのご納入は①銀行振込、または②郵便振込でお願いします。個人会費（2,000 円）、終身会費（30,000 円）を以下の①、あるいは②の方法でご送金をお願いします。

① 銀行振込の場合：下の口座（双友会会費用）に振り込んでください。

三井住友銀行・上前津支店・普通口座

（店番号）482-（口座番号）6309868（登録名）双友会

② 郵便振込の場合：同封の振込用紙をご利用ください。

## 平成22年度『双友会総会・懇親会』のご案内

今年度の「双友会総会・懇親会」を下記の要領にて開催いたします。万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。なお、参加希望の方は、下記枠内の必要事項を明記の上、FAX: 052-735-7254, E-mail: takagi.koji@nitech.ac.jp、または郵送で双友会本部事務局（高木幸治）までお申し込みお願いいたします。

- ◇ 会 場 総 会 : 名古屋工業大学学生会館2階・第3集会室  
懇親会 : 名古屋工業大学学生会館1階・大食堂（大学生協のある建物の1階）
- ◇ 日 時 平成22年10月22日（金）  
17:00～17:45（総会）  
18:00～19:30（懇親会、新入会員歓迎会）
- ◇ 会 費 5,000円（当日徴収）

## 平成22年度 双友会総会・懇親会・新入会員歓迎会 参加申込書

総 会 参加 ・ 不参加 / 懇親会・歓迎会 参加 ・ 不参加

ご氏名 : \_\_\_\_\_ ご卒業年度 : \_\_\_\_\_

ご住所 : 〒 \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

E-mail : \_\_\_\_\_

※ 法人でご参加の方は以下にもご記入お願い致します。

貴社名（部署名） : \_\_\_\_\_

ご住所 : 〒 \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

## 連 絡 先

◇ 関西支部（大阪支部より名称変更）

支部長 : 今井啓祐 (W40) 〒 662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町 2-2-2307 ☎ 0798-61-6411

幹事長 : 小山征治 (W42) 〒 562-0033 大阪府箕面市今宮 3-23-2 ☎ 0727-28-1898

◇ 東京支部

支部長 : 山田 實 (W23) 〒 241-0816 神奈川県横浜市旭区笹野台 1-10-23 ☎ 045-391-4332

幹事長 : 佐藤 誠 (W33) 〒 277-0043 千葉県柏市南逆井 2-10-17 ☎ 0471-74-7329

幹事長 : 飯田秀郎 (W33) 〒 134-0081 東京都江戸川区北葛西 5-5-2-502 ☎ 03-3688-1961

◇ 東海支部

支部長 : 泉地正章 (W44) 〒 466-0834 名古屋市昭和区雲雀ヶ岡 3-602 ☎ 052-837-7271

幹事長 : 吉木 満 (W56) 〒 472-0022 知立市山屋敷町富士塚 1-281 ☎ 0566-81-5366

◇ 双友会本部事務局

〒 466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 生命・物質工学科 生体材料プログラム

☎ 052-735-5264（高木幸治）

☎ 052-735-5273（岡本茂）

◇ 教員連絡先は生命・物質工学科 HP をご覧ください : <http://www.lme.nitech.ac.jp/staff-seitai.html>